

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 高山陣屋環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 高山陣屋管理事務所 電話番号：0577-32-0643

管理調整係

E-mail：c21806@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,665 千円 (前年度予算額： 469 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	469	0	0	469	0	0	0	0	0
要求額	1,665	0	0	1,665	0	0	0	0	0
決定額	1,665	0	0	1,665	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

高山陣屋維持保存に要する諸経費

(現状と課題)

入場者の通行（令和3年度103千人）、陽射しや風雨・雪の吹き込みにより畳が損傷しているため、傷みの激しい箇所から修繕を行う。

高山陣屋営繕作業に関する木工作業のために、現在、作業小屋屋内に簡易的な集塵機が設置されており、電気のごぎり等の木工機械を作動させる際には、集塵機も同時に作動させている。当該集塵機は、屋内に設置されていることと老朽化もあって、作動中も粉塵が舞っている状態となっていることから、作業者はマスクを装着し作業を行っているが、現状のままでは作業者の健康に害を及ぼすおそれがあるため、集塵機の設置工事を行う。

(2) 事業内容

畳の修繕（交換 11.5畳）

高山陣屋集塵機設置工事

(3) 県負担・補助率の考え方

県費（使用料）充当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
修繕料	469	畳の修繕
工事請負費	1,196	高山陣屋集塵機設置工事
合計	1,665	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

傷みの激しい箇所から修繕を行っていくため、財政負担必要。

(2) 事業主体及びその妥当性

岐阜県が事業主体となり、適時に修繕を行い、施設を公開する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

全国唯一、徳川幕府の代官所跡が現存する国史跡高山陣屋跡を維持保存するために修繕を適切に行い、広く公開する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

傷みの激しい箇所から修繕していく必要があり、数値化は困難

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・畳の修繕（表替え 31畳、裏返し 10.5畳） ・照明器具のLED化及び新設 ・御蔵土壁修理工事 <p>修繕を適切に行い、施設を良好な状態で維持保存し、103千人（令和2年度）の入場者に施設を公開することができた</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・畳の修繕（表替え 7畳、裏返し 10畳） <p>修繕を適切に行い、施設を良好な状態で維持保存し、103千人（令和3年度）の入場者に施設を公開することができた</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	施設を良好な状態で維持保存していくために、必要性が高い。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	施設を良好な状態で維持保存し、103千人(令和3年度)の入場者に公開することができた。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	閑散期に修繕を実施するなど、効率的に事業を実施している。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設は経年により、随所で修繕が必要となってきた

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 年間103千人(令和3年度)の入場者がある国史跡高山陣屋跡を、県民の誇りとして維持保存し広く公開するために、適切に修繕を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	